

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
松山商業	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
矢掛	0	3	0	1	0	0	0	0	×	4

矢：福尾、大山 — 小池

文責：谷口 未来（普通科総合コース）

矢掛高校の先発は、三年生右腕の福尾（井原中）。

- 1 回表、松山商業高校の攻撃。一死から死球を与えてしまいうが、牽制で刺し二死とする。次打者に右前打を放たれるも後続を抑え、この回無得点。
- 1 回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の山室（美星中）が右前打を放ち出塁。赤木（小北中）と大山（小北中）が連続犠打を決め、二死三塁とする。しかし、三振で抑えられ先制点ならず。
- 2 回裏、矢掛高校の攻撃。一死から原（総社東中）が失策により出塁する。続く山崎（高屋中）の打球が失策となり一・二塁。さらに小池（総社西中）が四球で出塁し一死満塁のチャンスを作る。ここで打席に入った山室が放った内野ゴロが失策となり2点を先制する。さらに二死二・三塁とチャンスが続き、赤木が俊足を活かした内野安打を放ち、さらに1点を追加する。
- 4 回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の山崎が四球で出塁し小池の進塁打で一死二塁とする。二死から三盗を決め、拡大させたチャンスに、山室が中前打を放ち、1点を追加する。さらに、赤木が放った内野安打の間に、三塁を狙うがタッチアウトとなり、この回の攻撃を終える。
- 5 回表、松山商業高校の攻撃。先頭打者に死球を与え、暴投と進塁打で一死三塁のピンチ。さらに、連続四死球で一死満塁のピンチを背負う。ここで痛恨の暴投で1点を返される。さらに、続くピンチは福尾が踏ん張り、最少失点で切り抜ける。
- 5 回裏、矢掛高校の攻撃。一死から山木が左前打を放ち福尾の進塁打で二塁まで進むが無得点。
- 6 回表、松山商業高校の攻撃。四球と犠打で招いたピンチは、三塁手：山木の好守で切り抜ける。
- 6 回裏、矢掛高校の攻撃。一死から小池が中前打を放ち出塁する。続く渡邊（矢掛中）が犠打を決め二死二塁とする。さらに山室が猛打賞となる内野安打を放つが、次打者が凡退し、追加点を奪えない。
- 8 回表、松山商業高校の攻撃。ここで矢掛高校の投手交代。この日で三連投となる大山がマウンドへ。先頭打者に四球を与え、捕逸でピンチを招く。三振を奪い一死とするが、四球などで二死一・三塁とされる。このピンチに右前打を放たれ1点を返される。
- 9 回表、松山商業の攻撃。大山の好投により三者凡退に抑えここで試合終了。

矢掛高校は松山商業高校に4-2で勝利した。今回の試合では、課題であった「打ち上げないこと」が少しずつだができてきていたように思う。塁を進める打撃や、チャンスの場面でヒットを打つことができてきていた。声も出ており、良いところは多く見られたが、ランナーコーチの判断ミスなどが気になる点として挙げられた。一つ一つのプレーに対して、良い所と悪い所が見えた貴重な試合であった。自分の課題、チームの課題を修正していき、春季大会に向け意識を高め精一杯取り組んでいってほしい。

新チームの戦績

6 勝 1 敗 1 分